

様式 45

# 煙火消費計画書

(該当する□印の中に「レ」印をつけ、その他の場合は□の中具体的に記入する。)

## 1 煙火製造業者の住所及び名称

## 2 煙火の管理

煙火置場

ア 設置の有無     有 (  消費準備中まで、 消費終了まで )     なし

イ 位置

打揚筒及び仕掛け煙火の設置場所並びに火気取扱所からやむを得ない場合を除き 20 m以上離れた風上とする。

・ 地形上やむを得ない場合の距離  m

ウ 構造 (当日の天候等により変更する場合もある。)

小屋組    テント張り    シート張り    有蓋車又は完全に覆いのできる車

エ 周囲は煙火、立入禁止、火気厳禁等の警戒札を配置する。

オ 責任者氏名

## 3 煙火の運搬、取扱容器の構造

(1) 火気、衝撃、転落に対し安全な木箱又は段ボール箱等による。

(2) 筒場等における取扱は容器に収納し、取出しのつど完全に蓋または覆いをする。

(3) 点火の方法

遠隔点火     導火線     電気点火

直接点火     焼金     落火     導火線     その他 (                      )

離隔距離の短縮     なし     あり

遮へい物の固定方法     杭等 (  杭     筒立て器     その他 (                      ) ) に  
縄等 (  縄     金具     その他 (                      ) ) で確実に固定する。

土のう等を用いて確実に固定する。

ガードフェンス (身体全体をカバーできるもの) 使用。

その他 (                      )

点火位置    煙火消費計画書の「10 煙火打上配置図及び付近見取図」に点火位置を明記する。

遮へい措置    次表のとおり (該当箇所の□に「レ」を入れる。)

## 打揚筒と球状の煙火玉の離隔距離と防護措置

(ポリカーボネート板を以下 [ポリカ] という。)

球状の煙火玉の直径	打揚筒からの離隔距離(m)			
	5m未満	5m以上 10m未満	10m以上 20m未満	20m以上
3cm超 15cm以下 (5号玉)	<input type="checkbox"/> (イ) 飛散物を遮断する 防護措置 例) 2mm厚ポリカ又は畳床	<input type="checkbox"/> (ハ) 飛散物に対する安全対策 (ヘルメット着用等)		<input type="checkbox"/> その他の 安全対策
21cm以下 (7号玉)	<input type="checkbox"/> 例) 4mm厚ポリカ又は畳床	<input type="checkbox"/> 例) 2mm厚ポリカ 又は畳床		
24cm以下 (8号玉)	<input type="checkbox"/> 例) 28mm厚ポリカ 又は畳床7枚 又は鋼板8.1mm	<input type="checkbox"/> 例) 4mm厚ポリカ 又は畳床	<input type="checkbox"/> 例) 2mm厚ポリカ 又は畳床	
30cm以下 (10号玉)	不 可	<input type="checkbox"/> (ロ) 飛散物の威力を軽減する防護措置 例) 8mm厚ポリカ 又は畳床2枚 又は鋼板2.3mm	<input type="checkbox"/> 例) 5.9mm厚ポリカ 又は畳床2枚 又は鋼板1.7mm	
60cm以下 (20号玉)		<input type="checkbox"/> 例) 16mm厚ポリカ 又は畳床4枚 又は鋼板4.6mm		
60cm超				

- ・ 防護措置の大きさは、人がかがみ隠れる程度の大きさ以上とする。
- ・ 4mm厚ポリカは2mm厚ポリカ2枚でも可。以下同様、ポリカの重ねでも可。
- ・ 上記の表と同等以上の防護措置能力のあるものでも可
- ・ 不可のところは、いかなる防護措置を施しても打ち揚げはできない。

※ 該当するすべての□に「レ」印を入れてください。

(4) 消費の順序の概要

種類 時間	号	号	号	号	号	号	号	号	スターマイン	仕掛	その他
時 ~ 時											
時 ~ 時											
時 ~ 時											
時 ~ 時											
時 ~ 時											
時 ~ 時											
時 ~ 時											

4 煙火の種類

申請書記載のとおり。

5 危険予防の方法

(1) 警戒措置 筒場等から メートル以上の位置に柵又は縄張り等をしてその付近に赤旗又は立札等を掲げ関係者以外の立入を禁じ警戒に当たる。

(2) 不発煙火等の回収措置

ア 回収指揮者名

イ 回収従事者数

ウ 回収の時間 終了後 翌日 ( 時から 時まで )

(3) 交通規制

有  無

(4) その他

6 事故発生時の措置

現場を保存し、すみやかに警察官（海上保安官）に届出ると同時に 消防署、  
防災総合事務所（地域活性化局）に通報する。

なお、遅滞なく事故内容について報告する。



9 煙火置場の状況

事務所所在地	
連絡者	(電話 )
責任者名	
打揚名称	
設置場所	煙火消費計画書の「10 煙火の打揚配置図及び付近見取図」に示す
構造の概要	構造  その他
注意事項	(例) ・ 付近の雑草を事前に刈り取る。 ・ 消費前に散水をする。 ・ 消火器及び防火用水（バケツ）を備える。